宮城県感染症発生動向調査情報(第51週)

宮城県【平成26年12月25日】発行
宮城県保健環境センター
TEL (022)257-7228

― 2014.12.15 ～ 12.21 ・ 第51週 ―

上段は患者発生数、下段は定点当り

疾病	保健所 仙南	塩釜	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼	仙台市 患者数	宮城県(含む仙台市) 患者数	累計	第48週	第49週	第50週	第51週
水痘	8 1.60	16 1.60	10 2.00	2 1.00	4 1.33	3 0.60		24 0.92	67 1.16	2,260	◎ →	○ →	○ →	◎
流行性耳下腺炎		1 0.10			2 0.67		2 1.00	11 0.42	16 0.28	675	→	→	→	
百日咳											→	→	→	
感染性胃腸炎	48 9.60	54 5.40	16 3.20	25 12.50	21 7.00	28 5.60	29 14.50	231 8.88	452 7.79	17,741	◎ →	◎ →	◎ →	◎
手足口病	1 0.20	3 0.30			1 0.33		2 1.00	6 0.23	13 0.22	535	レ →	→	→	
伝染性紅斑	18 3.60	3 0.30	10 2.00		1 0.33	14 2.80		46 1.77	92 1.59	2,790	◎ →	◎ →	◎ →	◎
突発性発しん	1 0.20	4 0.40	2 0.40	2 1.00	2 0.67		3 1.50	9 0.35	23 0.40	1,956	○ →	○ →	○ →	レ
ヘルパンギーナ								3 0.12	3 0.05	2,442	→	→	→	
インフルエンザ	186 23.25	224 14.93	151 18.88	17 5.67	18 3.60	52 6.50	14 3.50	887 21.12	1549 16.66	31,596	○ →	◎ →	◎ →	◎
咽頭結膜熱		3 0.30	1 0.20	6 3.00	1 0.33	2 0.40		29 1.12	42 0.72	756	→	→	○ →	○
流行性角結膜炎		2 0.67						2 0.33	4 0.33	177	→	→	→	
急性出血性結膜炎											→	→	→	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	5 1.00	14 1.40	5 1.00	8 4.00	2 0.67	35 7.00		110 4.23	179 3.09	5,996	◎ →	◎ →	◎ →	◎
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)											→	→	→	
無菌性髄膜炎											→	→	→	
ﾏｲｺﾌﾟﾗｽﾞﾏ肺炎			3 3.00	3 3.00				1 0.20	7 0.58	423	→	→	→	
ｸﾗﾐｼﾞｱ肺炎(ｵｳﾑ病は除く)											→	→	→	
RSウィルス感染症	26 5.20	66 6.60	12 2.40	18 9.00	8 2.67	13 2.60	1 0.50	133 5.12	277 4.78	1,865	◎ →	◎ →	◎ →	◎
拡張疾病 マイコプラズマ肺炎(小児科)		2		2			7	1						
拡張疾病 川崎病			1											
拡張疾病 不明発疹症								6						
感染性胃腸炎(ロタウイルス)※								1	1	54				

◎：流行の変化について、今後の情報に十分注意
○：発生または流行について、今後の情報に留意
レ：発生が少なくなっている傾向

【週報の詳報】宮城県保健環境センターのホームページをご覧下さい。
http://www.ihe.pref.miyagi.jp/~kansen-center/

※ 法改正により、平成25年10月14日より、ロタウイルスが原因の感染性胃腸炎について、基幹定点より報告を求めることになりました。

今週の全数報告疾病

※男児、女児は6歳未満

1類感染症：報告なし
2類感染症：結核
　仙台管内　男性2名、女性1名
3類感染症：細菌性赤痢
　仙台管内　男性1名
　腸管出血性大腸菌感染症(O78)
　仙台管内　男性1名
　腸管出血性大腸菌感染症(OUT)
　仙台管内　男性1名
4類感染症：つつが虫病
　仙南管内　女性1名
5類感染症：アメーバ赤痢
　仙台管内　男性1名
　クロイツフェルト・ヤコブ病
　仙台管内　男性1名
　梅毒
　仙台管内　女性1名(第50週)
　水痘(入院例)
　仙台管内　男児1名※(第50週)

今週のインフルエンザによる入院患者報告(仙台市を含む基幹定点報告)　8例

今週の感染症のコメント
― 宮城県感染症対策委員会情報解析部会 ―

[伝染性紅斑]
仙南、大崎、石巻管内で警報継続中。

[インフルエンザ]
塩釜、仙台管内で注意報値を超えた。
仙南、大崎管内で注意報継続中。

【病原体検出情報】

～保健環境センター～
感染性胃腸炎患者より

塩釜管内	第48週採取分	サポウイルス	1件
	第49週採取分	ノロウイルスGⅡ	1件
		サポウイルス	2件
	第50週採取分	ノロウイルスGⅡ	1件
		サポウイルス	2件
		エンテロウイルス型不明	1件

～仙台医療センターウイルスセンター～

	第49週採取分 (12.1～12.7)	第50週採取分 (12.8～12.14)	第51週採取分 (12.15～12.21)
ｲﾝﾌﾙｴﾝｻﾞｳｲﾙｽA(H3)型	0件	1件	0件
ﾊﾟﾗｲﾝﾌﾙｴﾝｻﾞｳｲﾙｽ1型	2件	1件	0件
ﾊﾟﾗｲﾝﾌﾙｴﾝｻﾞｳｲﾙｽ2型	2件	0件	0件
ﾊﾟﾗｲﾝﾌﾙｴﾝｻﾞｳｲﾙｽ3型	1件	0件	0件
RSｳｲﾙｽ	4件	11件	5件
ｱﾃﾞﾉｳｲﾙｽ	2件	1件	0件
単純ﾍﾙﾍﾟｽｳｲﾙｽ	1件	0件	0件

[感染性胃腸炎]
県全体の患者報告数は第48週から増加し、保健環境センターではサポウイルスの検出頻度が高くなっていることから注意が必要です。

[インフルエンザ]
今週、県全体の患者報告数は先週に比べ倍増しました。年末年始にかけて人が集まる機会が多くなり、さらに患者数が増加することが予想されるので、注意が必要です。

インフルエンザ関連情報　(患者報告年齢群別割合)

報告週＼年齢群	0～4歳 (%)	5～9歳 (%)	10～14歳 (%)	15～19歳 (%)	20～29歳 (%)	30～39歳 (%)	40～49歳 (%)	50～59歳 (%)	60～69歳 (%)	70～79歳 (%)	80歳～ (%)	総数 (人)
2014年 第48週	12.2	47.0	15.7	5.2	6.1	4.3	3.5	1.7	3.5	0.0	0.9	115
第49週	12.7	34.4	32.1	2.7	2.0	5.0	1.7	4.7	2.7	1.0	1.0	299
第50週	11.8	33.0	32.6	4.4	2.0	6.7	4.2	2.3	1.5	0.9	0.7	688
第51週	9.1	36.9	32.1	5.0	3.3	4.8	4.1	1.9	1.5	0.9	0.3	1549

インフルエンザ定点
インフルエンザ定点とは、小児科定点と内科定点を合わせたもので、県全体で93定点(県:51、仙台市:42)となっています。

定点把握の対象となる5類感染症(全国　第49週)　(国立感染症研究所感染症疫学センターホームページより抜粋)

インフルエンザ：定点当たり報告数は第43週以降増加が続いている。都道府県別の上位3位は岩手県(11.55)、埼玉県(9.49)、福島県(7.68)である。基幹定点からのインフルエンザ入院サーベイランスにおける報告数は112例と前週と比較して増加した。都道府県別では31都道府県から報告があり、年齢別では0歳(6例)、1～9歳(41例)、10代(10例)、20代(2例)、30代(1例)、40代(1例)、50代(2例)、60代(7例)、70代(14例)、80歳以上(28例)であった。**RSウィルス感染症**：報告数は6,851例と第46週以降増加が続いている。年齢別では1歳以下の報告数が全体の約66%を占めている。**咽頭結膜熱**：定点当たり報告数は第43週以降増加が続いている。都道府県別では北海道(2.80)、新潟県(1.79)、富山県(1.31)が多い。**A群溶血性レンサ球菌咽頭炎**：定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してやや多い。都道府県別では北海道(5.65)、福岡県(5.25)、岩手県(4.90)が多い。**感染性胃腸炎**：定点当たり報告数は第46週以降増加が続いている。都道府県別では大分県(22.92)、佐賀県(18.00)、福岡県(16.25)が多い。**水痘**：定点当たり報告数は第39週以降増加が続いている。都道府県別では新潟県(2.41)、山形県(2.33)、福井県(2.09)が多い。**マイコプラズマ肺炎**：定点当たり報告数は増加した。都道府県別では福島県(1.71)、静岡県(1.20)、栃木県(1.14)が多い。**感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)**：定点当たり報告数は3週連続で増加した。10都県から20例報告があり、年齢別では0歳(7例)、1～4歳(10例)、5～9歳(3例)であった。

＊全国の指定された医療機関(小児科定点(約3,000 カ所)、インフルエンザ(小児科・内科)定点(約5,000 カ所)、眼科定点(約600 カ所)、基幹定点(約500 カ所)の集計結果です。( )内数字:定点当たり報告数